

共和レザー、「2020年ビジョン」を策定

共和レザー株式会社(本社:静岡県浜松市、取締役社長:中村尚範)は、2015年6月25日付で発足した新経営体制により、創立80年に当たる2015年度を初年度とした5ヶ年の中期経営計画「2020年ビジョン」を策定しました。
グループ一体経営をより一層強化し、創立100年に向けて、長期安定成長を目指してまいります。

2020年ビジョン

1. ビジョン策定の背景

リーマンショック、東日本大震災により、2010年度～2011年度と、二期連続赤字に陥りましたが、2012年度から、全社で収益構造改革を強力に進めた結果、2012年度は黒字転換を達成しました。その後、2013年度～2014年度も、この活動に加え、市場ニーズに合致した製品の上市・拡販等により、業績は大幅に改善しました。

今期は、さらに過去最高業績の更新も視野に入ってきました。
この流れをさらに加速させ、創立100年(2035年)に向けて、当社グループを長期安定成長軌道に乗せるためには、グループ一体となった競争力の再構築が急務であると考え、5年先を見据えた戦略・組織を、2020年ビジョンとしてまとめました。

2. ビジョンの概要

- (1) 現在の、共和レザーグループの強み・弱み、および、グループ間の役割分担を踏まえ、以下の重点戦略を実行します。

販売面

- ・車両ウレタン合皮の、採用車種・使用部位拡大による拡販
- ・北米・中国市場への販売供給体制整備による拡販
- ・フィルム製品の、高付加価値化と新市場開拓による拡販

技術開発面

- ・お客様の期待を超える次世代商品開発
- ・グループ各社の特徴を活かしたオンリーワン技術の創出

生産面

- ・グループ内生産体制の見直し

・車両製品: 4拠点	5拠点へ拡充
・壁紙、ファッション・生活資材製品: 2拠点	1拠点へ集約
・物流拠点の集約化	

- (2) 上記の戦略実行により、以下の売上・利益を目指します。

売上・利益計画(連結)

(億円)	'14年度実績	'20年度目標
売上高	451	600
営業利益 (利益率)	25 5.5%	55 9.2%

以上